



第2回学校運営協議会
8月21日(月)

野洲中学校コミュニティ・スクール

～課題について「熟議」し、解決していく学校運営協議会に～

多様な意見が委員さんから出され、熱心に課題解決に向けての意見交流がなされました。教育活動を進めるうえで、①プールの老朽化で、使用できないことにより、遠くの B & G まで、バスで時間をかけて出向き、授業を行っている、②人権学習を進めているが、当事者の話を聞くことを大切にしているが、地域の人推協の方とともに実施できないかの2点があげられました。

プールの授業の教員の負担については、バスの乗車や見守りなど時間がかかることや授業担当教員の負担、それ以外の教員の見守りなどの必要性があり負担が増えている、というものでした。それについては、「支援員をつけて、監督する、バスの乗車支援など予算要望をしよう」という意見をいただきました。「1 か月では、授業は困難であり、検討しなおす必要がある」との意見も出ていました。また、「マスターズの方の協力が得られるかも」や「プロの目を取り入れた指導ができると安全面にもより一層気を配れる」という意見も出ました。

人権学習については、なかまづくりを大切に授業を進めている中で、子どもたちが学んでいることを地域の大人にも知ってもらいたいし、大人も子どもも共に学ぶことが、人権を大切にし、仲間を思う気持ちを育てていくことにつながるので、ぜひ教育課程に地域の方との学びを入れていきたいとの思いがだされました。「今の人権学習」「いじめのとりえ方」など以前とは違う学習を親や地域の方に知っていただき、地域でも子どもが今学んでいる、旬の取り組みに役立てられるとの意見が出ました。

地域学校協働活動については、地域学校協働活動推進員さんから「ひまわりプロジェクト」「オレンジガーデニングプロジェクト」について取り組み内容について紹介等がありました。「オレンジガーデニングプロジェクト」は写真展を開催されるそうで、野洲中学校の人権研究会の生徒たちの取り組みが広く紹介されていくことは、今後のいろいろな広がりにつながると考えられます。

